



**教育目標**

- よく考え学ぶ人
- 心豊かな人
- じょうぶな人

児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、いきいきと生きる人間を育てる。

**努力目標**

- (1) 各教科等の各段階の目標及び内容をもとに単元や授業の目標を設定し、「何を学ぶか」について明確にした年間指導計画を作成して授業を進める。
- (2) より主体的な学びを促すために、行動や言動の背景を探り、児童生徒の「思考・判断・表現」について多面的に考え、話し合うことで授業改善に努める。

**思考・判断・表現する授業づくり**

児童生徒が「思考」「判断」し主体的に学ぶ授業づくりを進めます。

- 児童生徒が何をどのように学ぶのか明らかにした上で、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりに努めます。
- 「特別支援学校教科指導充実事業」を活用し、各教科について研修を深め、各教科の中で児童生徒が主体的に学ぶための指導の充実を図ります。
- 「分かる・伝える・つなぐ」教育実践を充実させ、家庭や地域の中で思考・判断・表現する力の一層の向上に努めます。

**進路実現・自己実現を目指して**

進路指導や交流及び共同学習の充実を図り、生きる力をはぐくみます。

- <進路指導の充実>
  - 進学や就労に向けての情報提供や進路相談、事業所見学等を実態に応じて行い、関係機関と連携して進路指導を進めていきます。
  - 「本人の願い」を大切に、小学部から段階的な進路指導を行い、主体的に進路を考える力を育てます。
- <交流及び共同学習の充実>
  - 学校で学んだことを活用して、交流及び共同学習を進めることで社会性や豊かな人間性を育むようにする。
  - 「風と雲のまつり」や学校公開等を通して地域の方々とのふれあいを大切にします。
- <社会資源の活用>
  - 地域の人材や施設など、社会資源の活用を図ります。

**地域におけるネットワークづくり**

チームでつなぐ地域支援センターを目指します。

- <地域支援センターの充実>
  - 地域支援センター「かぜくも」は、共に育つ共生社会の形成に向けて、教育支援アドバイザーと共に各関係機関との連携を図りながら、相談・支援の充実に向け取り組めます。
  - 次の3つの柱を中心に支援に努めます。
    - ① 幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校への支援（出かける支援、ミニセミナー）
    - ② 早期教育事業（かぜくもひろば、かぜくも教室、かぜくも相談室）
    - ③ 地域につなげる支援
  - 特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない相談支援のさらなる充実を図る。
- <情報の発信>
  - 家庭や地域社会に「見える」学校を目指し、通信やホームページ等で児童生徒の様子を発信します。

～「見える」・「安心と安全」・「地域で学ぶ」学校づくり～

校長 佐藤 清悦



- I 教育活動への一層の理解と期待を得るべく、教職員一同、丁寧と笑顔を大切に取り組んでいきます。
- II 新学習指導要領の理解深化と円滑な実施に向け、授業改善に資する校内研修を推進していきます。
- III 共生社会の形成に向け、障がいのある子どもが地域の中で安心して生活できる相談支援に取り組んでいきます。
- IV 多様な学びの場として地域の学校・文化的活動等との交流活動及び共同学習に取り組んでいきます。
- V 段階的な進路指導の充実や進路実現に向けた関係機関との情報共有・連携を図り、地域との接続・移行に取り組んでいきます。
- VI 児童生徒が安心・安全な学校生活が送れるよう家庭・関係機関との一層の連携協力を努めていきます。

「見える学校」

「安心と安全な学校」

「地域で学ぶ学校」